



令和元年度(平成31年度) 城山地区地域活性化事業交付金 交付決定事業実績

令和2年3月31日現在

事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
1 「城山地区で本物に触れよう」	城山地区青少年健全育成協議会	<p>・子どもたちが、一流の芸術や日本古来の伝統文化などの本物を直接に観たり、聴いたり、感じたりすること。このことを通して、子どもたち一人ひとりの情操面を豊かにし、健全育成に繋げる。</p> <p>・また、この取り組みは、子どもたちを中心に据えた取り組みであるが、子どもたちと共に地域の方々にも参加を広げることで、地域の繋がりなどが希薄化している今日的課題の解消に向けた一歩とし、地域のコミュニティを広げ、世代間の繋がりを深める。</p>	<p>開催日:11月23日(土) 会場:中沢中学校体育館 内容:N響団友会によるオーケストラの鑑賞 周知:地域情報紙への掲載、自治会掲示板へのポスター掲示など 来場者:367人 その他:全体会(計5回)、運営委員会(計6回)開催</p>	<p>情操教育の一環として地域の子もたちが一流のオーケストラの演奏を直接に鑑賞する機会を持つことができた。</p> <p>また、会場となった中沢中学校およびPTAとの協働・連携が進み、学校の行事として在校生の参加があった。</p> <p>さらに、地域の子もたちだけでなく、地域の一般の方々への参加も数多くあり、地域に根差した活動の一つとなってきている。</p>	<p>地域の子もたちが一流の芸術に触れる機会は残念ながらまだまだ多くはない。このような状況の中でそういう機会を企画・運営し、実施・提供できたことは事業に対する最大の評価と考えている。</p> <p>また、周知に際してポスターやちらしの配付について様々な地域の方々のご理解や協力を得ることができたことも、今後のイベント実施に向けて大きな財産となってきている。さらにこのイベントがマスコミ報道されたり、地域情報誌に掲載されるなど評価されていることを実感できる。</p> <p>367名の参加者(内青少年は127名)があり、アンケート結果から「とても良い企画だと思う」という回答は94パーセント、「また実施してほしい」という回答は91パーセントであった。</p>	H31.4.24	700,000
2 第2回城山湖ヒルクライムアタック雌龍籠山ステージ	城山湖ヒルクライム実行委員会	<p>・市民が主体となって「城山地区のために!!」をスローガンとして地域内住民の連携強化を図る。</p> <p>・自転車競技のメッカとしての知名度の向上を図る。</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピック機運の向上を図る。</p>	<p>実行委員会全5回(出席者:10名11名 11名 10名 10名) ボランティアスタッフ説明会(出席者:35名) 前日準備(参加者30名) 大会当日(参加選手:86名エントリーボランティアスタッフ135名)</p>	<p>昨年より城山地区内外から多くの参加があり、地域の各種団体(自治会、城山観光協会、城山商工会)・個人のボランティア協力、お囃子(小松、町屋、若葉台)の演奏等、地域一体となった事業運営を図ることができ、盛大に開催することができた。</p> <p>また、今回は、「さがみはらサイクルフェスティバル」と連携を図り、上位入賞者を「さがみはらサイクルフェスティバル」に招待するなど、事業実施において新たな展開を持たせることができ、城山地区における自転車競技をPRするとともに東京オリンピック競技大会自転車ロードレース競技における気運醸成の一翼を担うことができたことと認識している。</p>	<p>地域の各種団体・個人のボランティアの協力を得ることにより、地域一体となり運営したことにより、地域の絆を強めることに繋がったと認識している。</p> <p>・今年は、白熱したレースを間近で観戦することができるようコースの両側に歩行者用通路を設置したことで、レースの盛り上げに繋がった。</p> <p>・城山地区の資源でもあり、素晴らしい展望である城山湖を会場とすることで城山地区の魅力発信、知名度向上に繋がったと認識している。</p> <p>・安全対策においても警備員の増加や地域のボランティアの増加により前年より充実させることができた。</p>	H31.4.24	815,000

	事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定 年月日	交付金額 (単位:円)
			事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
3	多世代が安心して幸せに暮らせるまちづくり「若葉台住宅の魅力づくりと情報発信事業」	若葉台住宅を考える会	<p>若葉台住宅の魅力の掘り起こしや、さらなる魅力づくりと共に、こうした地域の魅力を外部に向けて発信する事で、新規入居者の導入促進をはかり団地の空洞化、高齢化に歯止めをかける事を目的とします。 同時に城山地域全体の振興をも狙うものであります。</p>	<p>1)ドローンによる空中撮影で、若葉台地区及び周辺エリアの四季を撮影し、短編の動画に仕上げ、城山地区の情報を発信(継続事業) 2)会独自のホームページを運用し1)の動画をともに若葉台の地域情報や周辺の観光情報を広く発信(継続事業) 3)広報誌「若葉台タイムス」を5回発行(初めての試み) 4)桜美林大学と組み、「団地納涼祭のイベント」を盛り上げた(初めての試み) 5)住民の大きな困りごとである、「来訪者用臨時駐車場」を開設した。(初めての試み) 6)こども会と組み、「納涼流しそめん大会」を開催し夏休み子どもたちとの交流(初めての試み) 7)法政大学と組み、全住民を対象とした「住民意識調査アンケート」を実施(初めての試み) 3)5)は規模を拡大し今後の収益事業化を考える。</p>	<p>情報発信については、ホームページおよびドローン撮影による動画で外部に地区情報発信し、閲覧者は1年間で3000ビューから8000ビューと倍増し、大勢の人に見ていただき相模原市緑区、城山地区および若葉台の宣伝に役にたち、空き家解消の一助になったものと考えています。(若葉台への新入居者増効果) 地区内において実施している朝市、若葉台タイムス、臨時駐車場の運営活動を通じて当会の認知度が向上、地区住民の方々から好評を得るとともに感謝されている。 全住民アンケートの結果から、地域を愛しいつまでもここで暮らしたいと言う住民の意識が浮き彫りになった。また要望事項も多数集まったので、結果を次年度以降の若葉台の魅力づくり活動につなげていく。</p>	<p>地域活性化交付金の2年度目の活動でしたが、前半は、2大学との連携活動もスタートし地区の活性化に大きく寄与するなど、計画以上の活動が出来て満足いくものだった。 後半は活動拠点のサロンの閉鎖、令和元年度東日本台風、新型コロナウイルス感染症の影響により、いくつかのイベントを縮小、または中止にせざるを得なくなり課題が残った。 日程上の理由で実施できなかった子ども防災イベントの代わりに、全住民対象の住民アンケートを実施出来たのは大きな成果である。</p>	H31.4.24	308,000
4	「金刀比羅宮東側高台整備事業」	城山湖周辺見晴らし応援隊	<p>城山地区の城山湖周辺地域は、本沢ダムや本沢梅園、城山湖散策施設や金刀比羅宮東側高台など、城山地区の魅力的なポテンシャルを有しており、近年、この地を訪問する人は、城山観光協会が実施している観光客入込調査によると年々増加傾向にあります。とりわけ、金刀比羅宮東側高台は気軽に行くことのできる眺望スポットとして、近くの評議原とあわせてハイキング客等から好評を得ています。 こうした、城山地区の魅力をさらに市外へPRすることによって城山地区のさらなる活性化を図っていきたくと考えております。 しかしながら、紹介する場所には危険な箇所もあり積極的にPRできていないという現状があります。 来年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、今後ますますインバウンド観光を見据えた取り組みが全国的にも増えてくるものと推測されます。このため、城山湖周辺を訪れる方々に、安全で安心して楽しんでいただけ観光スポットとしての魅力を高めていきたくと考えております。</p>	<p>12月25日 金刀比羅宮東側高台の安全柵の塗装、高台部分の除草などを、応援隊のメンバーと城山湖里地里山観光振興協議会の有志、その他協力者による共同作業として実施した。(13人) 12月26日 当該箇所が、市内屈指の初日の出スポットのため、市と城山観光協会のホームページを通じて、初日の出を安全に楽しめる環境整備ができたことをPRした。 12月30日 応援隊のメンバーが、現地において施設の点検、清掃など、初日の出の観望者の受け入れのための準備を実施した。(2人) 令和2年1月1日 応援隊のメンバーが、現地における初日の出の観望状況を視察した。(2人)  (参考) 1月20日 当該安全対策の実施を踏まえ、城山湖里地里山観光振興協議会が、当該展望スポットを市所管の城山湖散策施設の案内看板等へ追加表示することについて、市に申請を行った。</p>	<p>当該地の安全対策は喫緊の課題とされながらも、長年、実現が図られない状況が続いてきたが、この度の取組により、市内屈指の眺望を安全に楽しめる環境を提供することができるようになったほか、周囲の景観に配慮した形で安全対策を行ったことで、観光スポットとしての魅力も格段に向上した。 また、整備を城山湖周辺地域観光振興計画の推進母体である城山湖里地里山観光振興協議会と共同で行うことにより、今後の観光振興への連携ある取組の意識を高めることができた。</p>	<p>初日の出に間に合う形で当該地の安全柵や土留めなどの整備を行うことができたため、元日の早朝には多くの観望者に安全な環境の中で初日の出を楽しんでいただくことができた。 また、当該地での安全対策の実施を踏まえ、城山湖里地里山観光振興協議会により「龍籠山展望台」として、現地周辺の観光案内図への追加表示など、積極的なPRの取組が開始された。</p>	R1.11.21	900,000
							2,723,000	